

「ボーダレスな危機連鎖時代の社会とガバナンス」研究会 ベネズエラ：どのように民主主義は溶解し、 経済は破綻したのか

世界最大の石油埋蔵量を誇り、また20世紀後半にはラテンアメリカの民主主義の模範と呼ばれたベネズエラでは、過去20年民主主義が溶解し、権威主義体制が長期化している。経済面では2014～2020年に国家経済（GDP）が7年で5分の1に縮小するほどの激しい経済縮小とハイパーインフレに見舞われ、経済が破綻した。その結果人口の4分の1にあたる770万人以上が国を離れた。経済成長率はようやくプラスに転じたものの、市民の生活は引き続き厳しい。ベネズエラにおける民主主義の溶解と経済破綻の背景とプロセスについて、また今年予定されている大統領選を前に少しずつ動き始めたベネズエラ政治について、概説する。

一般公開・学部生可
(参加無料)

お申し込みはこちらから



2024年2月6日(火)
17:00～18:30

ZOOMによるオンライン研究会

- **報告者** 坂口 安紀 氏
ジェトロ・アジア経済研究所 地域研究センター 主任調査研究員
- **司会** 内山 直子 氏 東京外国語大学 准教授

※本企画は2023年度東京外国語大学研究AO研究プロジェクトの支援を受け実施されています。

